

栗原市花山高齢者生活福祉センター指定管理者年度協定書（案）

（令和４年度）

栗原市（以下「甲」という。）と〇〇〇（以下「乙」という。）とは、栗原市花山高齢者生活福祉センター（以下「本施設」という。）の管理運営に関し、令和４年３月〇〇日付けで締結した栗原市花山高齢者生活福祉センター指定管理者基本協定書（以下「基本協定」という。）に基づき、令和４年度における協定書（以下「年度協定」という。）を締結する。

（目的）

第１条 この年度協定は、本施設の管理業務の対価として支払われる指定管理料及び維持管理経費等の負担率等に関し、必要な事項を定めるものとする。

（年度協定の期間）

第２条 この年度協定の期間は、令和４年４月１日から令和５年３月３１日までとする。

（光熱水費等の負担割合等）

第３条 本施設それぞれの機能に応じた面積の割合に応じ、次のとおり案分率を設定する。

施設区分	負担者	面積	案分率	備考
通所介護部門	乙	742.55 ㎡	55%	
居住部門	甲	612.04 ㎡	45%	指定管理料として甲が負担 (交流ホール部分を含む)
合 計		1,354.59 ㎡	100%	

（維持管理経費等の取り扱い）

第４条 光熱水費等維持管理経費及び施設の修繕に係る経費（以下「維持管理経費等」という。）は、それぞれの占有部分は当該占有者の負担とすることを基本とする。ただし、大規模修繕等、甲が必要と認める場合は、甲乙協議の上、当該負担割合を変更することができるものとする。

２ 通所介護部門と居住部門とに請求書を区分することができない次の各号に掲げる維持管理経費等については、前条の案分率による甲及び乙の負担とする。

- (1) 電気料
- (2) 上下水道料
- (3) 燃料費
- (4) 施設管理に係る委託料

（指定管理料等）

第５条 指定期間における甲が乙に支払う指定管理料は、居住部門の利用があった月に係る指定管理料（以下「月間指定管理料」という。）と年間の維持管理等に係る指定管理料（以下「年間指定管理料」という。）に区分する。

２ 月間指定管理料は、次の各号に掲げる額の合計額から、入居者の利用料その他の収入を差し引いた額とし、乙は、月間指定管理料について、居住部門の利用があった月の翌月１０日までに、当該利用月の月間指定管理料に係る請求書を甲に提出し、甲は、当該請求書を受理した日から３０日以内に乙に支払

うものとする。

- (1) 生活援助業務（常勤） 8, 2 4 2 円／日
- (2) 宿直業務 7, 3 0 4 円／日
- (3) 休日等日直業務 7, 3 0 4 円／日

- 3 年間指定管理料の額、請求時期、支払方法等は次のとおりとし、実績において過不足が生じた場合においても精算は行わないものとする。ただし、指定管理料の算定時には想定していなかった事由により、大幅な維持管理経費の増減が予想される場合には、甲乙協議し、指定管理料の額を変更することができるものとする。

指定管理料	請求時期及び金額	支払方法
3, 400, 000 円	第 1 期 令和 4 年 4 月 1, 700, 000 円 第 2 期 令和 4 年 10 月 1, 700, 000 円	前金払

- 4 甲は、前項に定める指定管理料を乙の請求により支払うものとする。

- 5 甲は、前項の規定による請求を受けたときは、速やかにその内容を審査し、請求書を受理した日から 3 0 日以内に、指定管理料を乙に支払うものとする。

- 6 第 3 項の規定にかかわらず、当該年度中に入居者の無かった月がある場合においては、前条第 2 項第 1 号から第 3 号までの光熱水費について、次の月の区分に応じた月単価に、それぞれの月の区分における入居者の無かった月数を乗じて得た金額を、乙は甲に対し翌年度に精算するものとする。

月の区分	月単価	備考
4 月～10 月	91, 450 円	電気料 60, 160 円、上下水道料 13, 020 円、燃料費 18, 270 円
11 月～3 月	149, 980 円	電気料 60, 160 円、上下水道料 13, 020 円、燃料費 76, 800 円

（疑義等の決定）

- 第 6 条 年度協定に定めのない事項及び年度計画に関する疑義が生じたときは、甲及び乙は誠意をもって協議を行い、これを決定するものとする。

この年度協定を証するため、本書 2 通を作成し、甲乙記名押印の上、各自 1 通を所持する。

令和 4 年 3 月〇〇日

甲 住 所 栗原市築館薬師一丁目 7 番 1 号
氏 名 栗原市長 佐 藤 智

乙 住 所
団体名
氏 名